

地域発 元気づくり支援金 知事表彰事業一覧表

	地域	表彰日時	場所	事業名 【事業団体名】	事業の概要	選定のポイント
大賞	佐久	12月19日(金) 13:30～14:00	佐久合同庁舎 講堂	JR小海線で行く車いすの旅事業 【小海線とふるさとを愛する会】	JR小海線の列車を貸し切り運行することにより、鉄道利用のハードルが高い車いすユーザーが気軽に乗車できるイベントを開催し、ローカル線におけるユニバーサルツーリズム促進に向けた実証を行った。	NHKの全国放送で取り上げられ、新聞も3社に掲載される等、事業の反響の大きさが最大でかつ、補助額は30万円で効率性に優れた。事業には地域の関係者(企業、医療従事者、大学・高校生ボランティア)を集め、住民参画の度合いが高い。スポンサー獲得により、資金面の目途がついたため、1年の短期間で支援金を卒業して経済的自立を達成した。
	上田	12月18日(木) 13:30～14:20	上田合同庁舎 講堂	ふくろうの里「共に創る学びの場」創造事業 【地球クラブ】	子どもたちに豊かな自然の中で多様な人とふれあい「人とつながる力」を育てるため、大学生とともに企画を行ってきた活動を、さらに多くの世代・地域を超えて人々が繋がる場とすべく、子育ての悩みを共有する集会や共育キャンプを開催し、また、活動場所の安全確保のための水害対策工事などを実施した。	これまで30年に渡り活動をしてきたが、支援金を活用し事業を実施することで、地域内外との繋がりや若い母親たちが自主的に活動する機会の創出など、事業全体がさらに発展していくきっかけとなり、支援金を活用した事業の良いモデルケースとなるものと考えられる。
	諏訪	12月16日(火) 13:30～14:30	諏訪合同庁舎 講堂	幕岩地域景観改善事業 【東山地域里山活性化プロジェクト】	諏訪市の四賀普門寺を中心とした里山に眠る史跡、旧跡を観光資源や子どもたちが集える場所として活用するため、幕岩地域の整備、古岩久保地域の散策ルート現況復旧、史跡の散策イベント等を実施する。	エリア一帯の散策路や史跡の整備に多くの地域住民が参画し、住民の新たな活動推進の場となる「幕岩公園」が完成した。報道による周知で知名度も上がり、幕岩を活用したイベントの実施など訪問者の増加が見込まれ、更なる地域の活性化が期待される。今後も地元ボランティアとともに維持管理が行われる。
	上伊那	12月18日(木) 13:00～14:00	伊那合同庁舎 講堂	地域の音楽芸術文化「いのちのWa!」高揚事業 【いのちのWa!実行委員会】	上伊那管内の小中学校の音楽指導や合唱コンサートへの合同参加及び「いのちのWa!」コンサート等を開催し、地域に根差した音楽活動を実施した。 上伊那管内住民の音楽を通じた個人相互の交流や、活動の定着化・継続化を図った。	小中学校の音楽合唱指導や公民館歌唱指導等を1年間に延べ100回開催し、音楽を通じた地域住民の交流等を進め、音楽文化の定着につながった。今後は、地域の協力や協賛企業の増加も見込め、自主運営で地域に質の高い音楽を届ける機会を創出し続けることが期待できる。
	南信州	12月17日(水) 13:30～14:35	飯田合同庁舎 講堂	「ホテルの里」の環境保全とホテル祭りの開催で中山間地の活性化 【龍江四区地域づくり委員会】	ホテルの生息環境保全や祭り運営を通じ、地域住民・若者の参加促進、安全対策強化、広報活動による来訪者増加を図り、地域資源を活かした観光推進に貢献した。	ホテルの生息環境保全を軸に、地域資源を活かした観光推進と地域住民の協働による祭りの運営体制強化に成功。若者や女性の参加促進、広報活動による目標よりも大幅な来訪者増加など、地域の魅力を守りながら発信する好事例であり、龍江地域の活性化に十分貢献し、地域の定番イベントとしてのコンテンツ定着に期待できるモデル性の高い事業である。
大賞	木曽	12月18日(木) 13:30～14:30	木曽合同庁舎 講堂	いつまでも住み続けられる魅力ある故郷づくりプロジェクト第1弾 【与川地域づくり協議会】	過疎化が進む地域において、大人から子どもまで住民が丸となってこの地域を磨き上げ、楽しみながら生活していくため、地元住民により与川古道の支障木伐採、丸太橋の制作、休憩用ベンチづくり、魅力探索ツアーなどを実施した。	過疎化が進む地域において、古道の復元作業やベンチづくり教室、魅力探索ツアー等が行われ、合計101名が参加した。これは当初見込んでいた60名を大きく上回っており、地域住民を想定以上に巻き込んでいる。また、3歳から90歳代まで幅広い年代が参加しており、特に若い年代には多世代の交流を通じ、これまでの歴史や地域の魅力を再発見する良い機会となった。
	松本	12月18日(木) 13:30～14:30	松本合同庁舎 講堂	ナナイロアートプロジェクト事業 【ナナイロ会議実行委員会】	多様な人が表現できる居場所を作ることを目として、障がいのある人とそれを支える人たちのコラボレーションを創出するイベント「対話アート展」の開催により、障がいや生きづらさについて一緒に考えるきっかけとなる場を構築し、地域の多様性や障がい者支援への理解を深めた。	松本市内の枠を超えて、県内の他地域に波及した活動となったこと、3年目にして延べ20万人を超える来訪者や100名を超えるボランティアを得たことは発展性があり、今後は期待される。また、補助金活用後も自立・自走して事業を継続していることが高く評価。
	北アルプス	12月25日(木) 13:30～14:10	大町合同庁舎 講堂	北アルプス地域材活用発信拠点推進事業 【北アルプス森とつながる暮らし案内所】	林業関係者、製材乾燥関係者、木材利用者等が連携して活動するため、活動拠点を設置した。また、ホームページの開設やコンセプトページの制作、オリジナル商品を5アイテム開発した。	活動拠点の設立をはじめ、商品開発、イベント出展、ホームページの開設などを通じて、北アルプス材の魅力を発信する取り組みを展開した。行政主導から地域主体への転換を図り、木工従事者や一般ユーザーとのつながりが深まり、地域材の適切な活用に大きく貢献している。
	長野	12月23日(火) 13:00～14:00	長野合同庁舎 501～503会議室	「みんなの冷蔵庫くま」創設事業 【更埴ライオンズクラブ】	生活困窮者が時間や人目を気にせず食料品等を受け取ることができる仕組み「みんなの冷蔵庫くま」を、更埴ライオンズクラブ事務所に開設。利用者の心情に配慮した環境を整備するとともに、ホームページを作成し、認知度や利便性の向上、支援者の参加促進を図った。	生活困窮者が無料で食料品等を受け取ることができる「コミュニティフリッジ」を、県内で初めて整備。利用者が人目を気にせず安心して利用できる環境を整えるとともに、提供者が都合の良い時間に物資を搬入できる仕組みも構築。利用者・提供者双方に配慮した拠点づくりにより、利用のしやすさと支援の継続性を両立させた先駆的な取り組みとして、今後の波及効果が期待される。
	北信	12月16日(火) 13:15～13:35	飯山庁舎 大会議室	安心して暮らせる地域づくりを持続させるための地域商社推進事業 【一般社団法人 未来社会推進機構】	自治活動を維持させる地区のエリアマネジメントを行う事業。 R6年度は、人口減少に伴う区費減少の課題に対し、地域資源を活用した商品を販売し、区域外からの収入を区費に充てる。活動を広くPRし、コミュニティ活動の普及を図る。	3か年にわたる取組では、空き家の改修による「受け皿の整備」、地域住民との意識共有と移住希望者への理念発信による「受入体制の整備」、地域維持のための資金確保を目的とした「商品開発」という3つの柱を中心に事業を展開。R6年度、地域で開発した商品は、ストーリー性を持たせることで付加価値を高め、計画を上回る効果的な発信・販売を実現することができた。